令和７年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査　幌加内町内の小・中学校の状況及び今後の体力向上策

学校数：小学校１校・児童数41名、中学校１校・生徒数23名

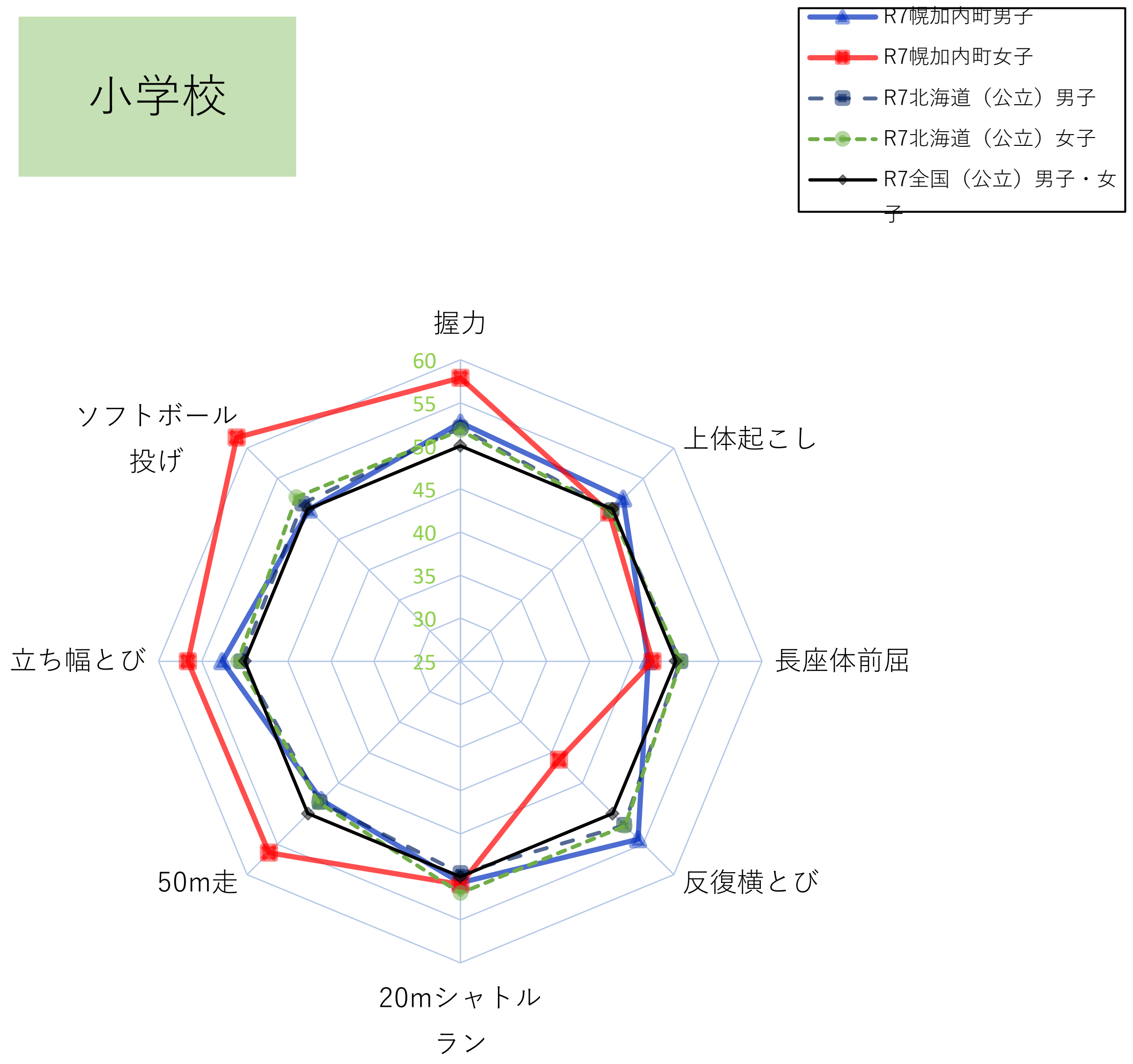
○　実技に関する調査の状況

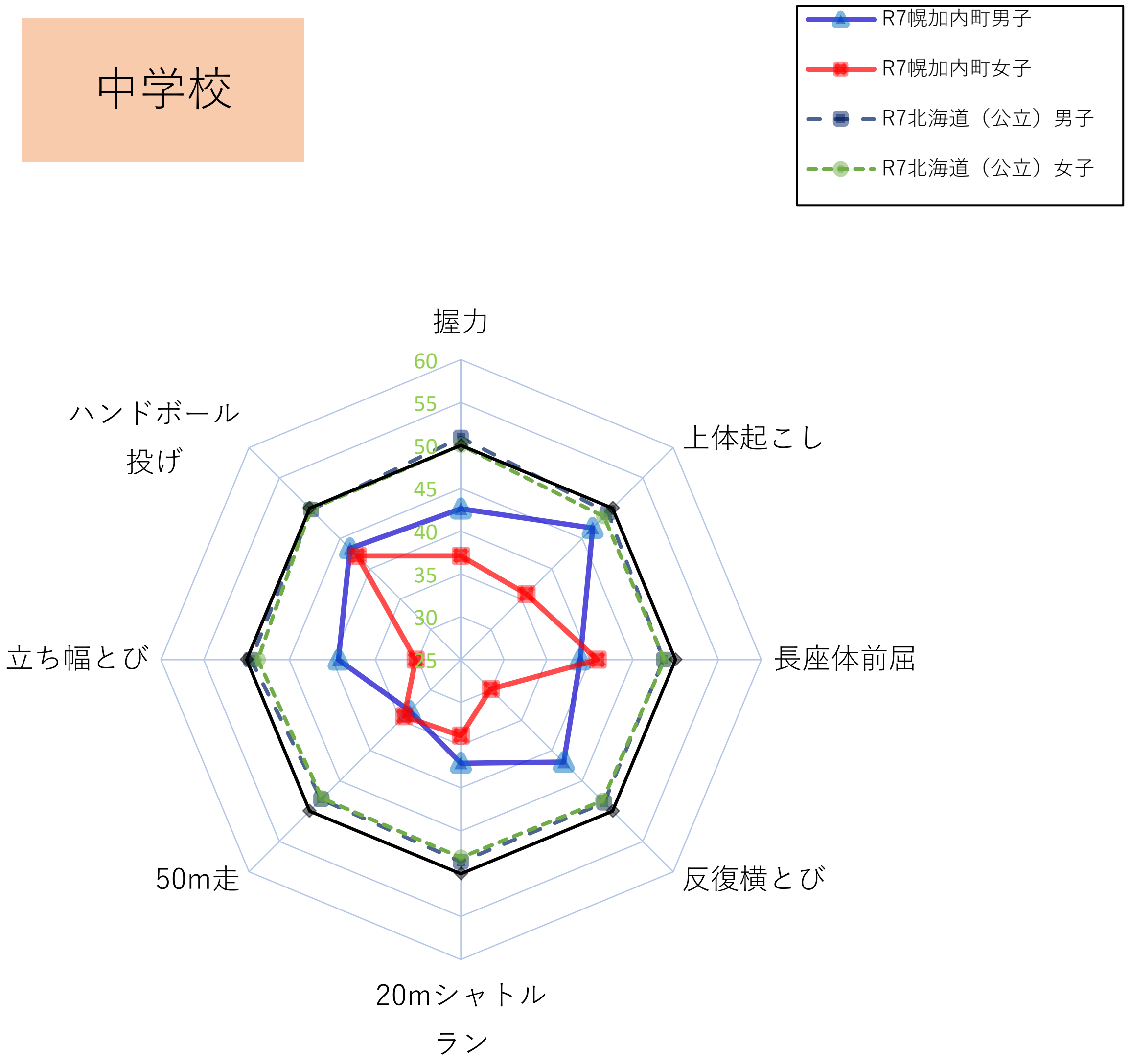
・各種目の記録及び体力合計点

小学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ
R7幌加内町男子	52.7	51.7	46.8	54.2	50.7	47.8	52.6	49.9
R7幌加内町女子	57.9	49.4	47.3	41.2	50.9	56.4	56.6	61.7
R7北海道（公立）男子	52.1	49.8	50.5	51.9	49.6	48.1	50.4	50.9
R7北海道（公立）女子	51.8	49.6	50.6	52	51.9	48.2	50.8	51.9
R7全国（公立）男子	50	50	50	50	50	50	50	50
R7全国（公立）女子	50	50	50	50	50	50	50	50

中学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ
R7幌加内町男子	42.6	46.7	38.9	41.9	37.1	33.5	39.3	43.3
R7幌加内町女子	37.1	35.8	40.9	29.9	33.9	34.4	30.3	42.1
R7北海道（公立）男子	50.9	49.2	48.8	48.6	48.6	48.1	49.5	49.7
R7北海道（公立）女子	50	48.6	48.7	48.3	48.1	47.9	48.7	49.8
R7全国（公立）男子	50	50	50	50	50	50	50	50
R7全国（公立）女子	50	50	50	50	50	50	50	50

・各種目の全国平均値を50とした場合（T得点）の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで表示



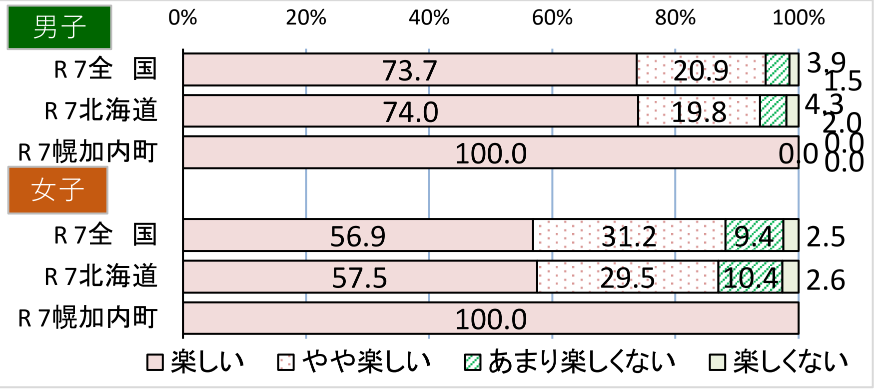


○　質問調査（児童生徒質問調査・学校質問調査）の状況

小学校

【児童質問調査】

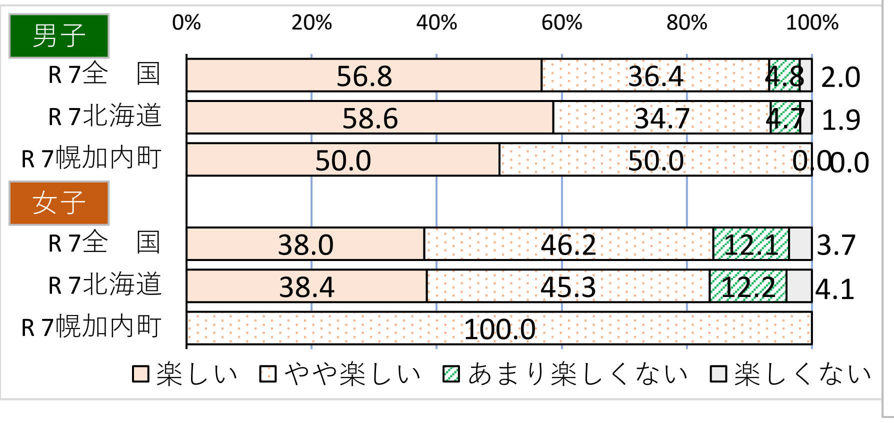
・体育の授業は楽しいですか



中学校

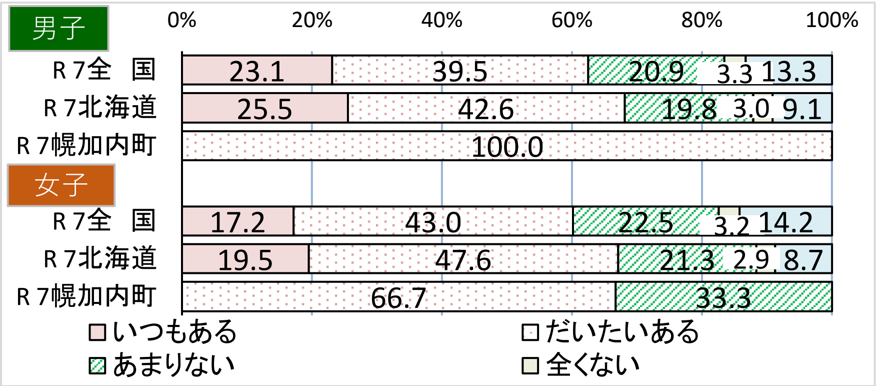
【生徒質問調査】

・保健体育の授業は楽しいですか



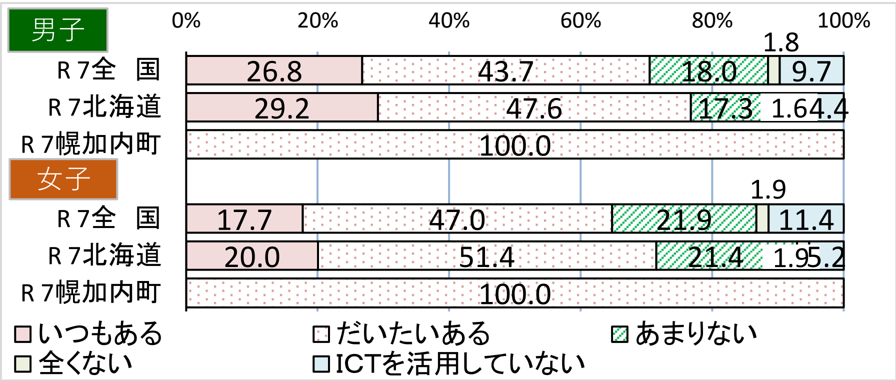
【児童質問調査】

・体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



【生徒質問調査】

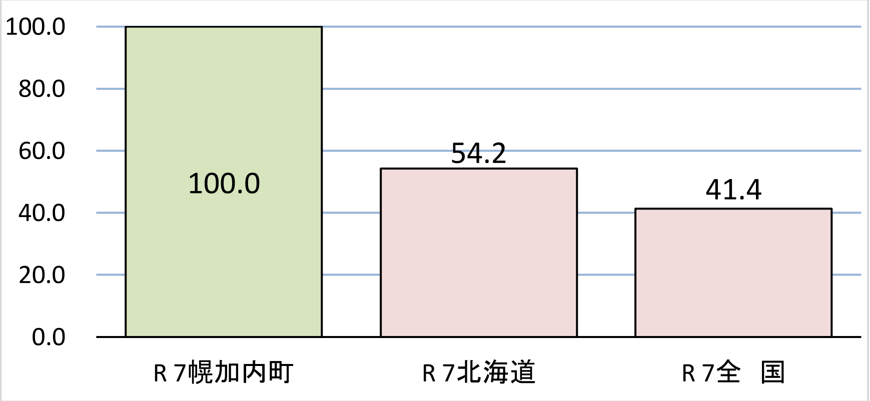
・保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



【学校質問調査】

小学校

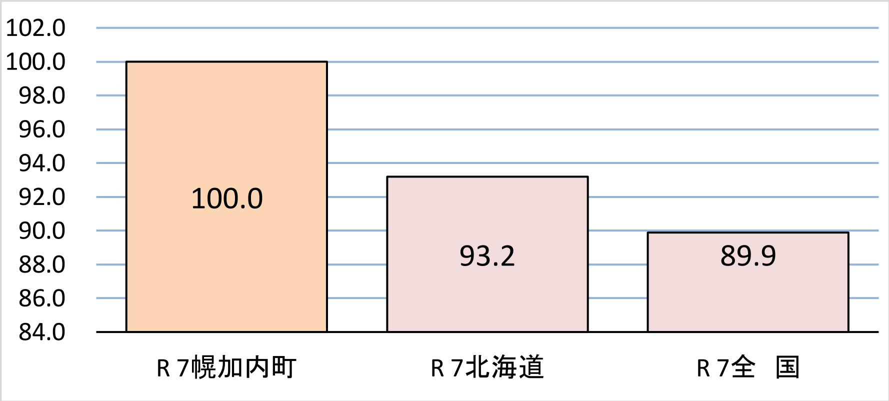
・体育授業において2週に1時間程度ICTを活用している



【学校質問調査】

中学校

・保健体育授業において毎時間ICTを活用している。



■　調査結果の分析

小学校

【成果】

・小学校においては、体育授業において継続的にＩＣＴを活用し、ＩＣＴを活用しながら運動に取り組む指導の工夫を行ったことにより、運動に対する意欲が高まり、「体育の授業が楽しい」と感じる児童の割合が全国及び全道を大きく上回ったと考えられる。

【課題】

・ＩＣＴの活用については、2週に1時間程度使用しているもともあり、ＩＣＴの技能や知識が定着してきたが、毎時間使用するには至っていないないため、ＩＣＴの使用頻度を増加させる工夫が必要である。

中学校

【成果】

・中学校においては、保健体育授業において継続的にＩＣＴを活用し、技能や知識の定着につなげるための指導の工夫を行ったことにより、保健体育の授業でタブレットなどの「ＩＣＴを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがあると肯定的に回答している生徒の割合が、全国及び全道を大きく上回ったと考えられる。

【課題】

・全国及び全道と比較して、ＩＣＴの活用頻度が高く、知識や技能の定着につながっている。保健体育の授業については、「やや楽しい」と回答した生徒が100％となっており、より肯定的な回答が得られることを期待される。

■　幌加内町の体力向上に向けた改善方策

・スポーツ庁の「ＩＣＴ端末を活用した体育・保健体育授業の事例集」を参考にしたデジタル学習基盤を活用した「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の推進

・社会教育事業等を通した授業以外での運動やスポーツを体験する機会の創出

・児童生徒の状況に応じた指導方法の工夫改善を図る